

ケニア国
バリngo県半乾燥地域農村開発計画
事前（予備・S/W協議）調査報告書

平成 11 年 7 月

国際協力事業団

序 文

日本国政府は、ケニア共和国政府の要請に基づき、同国のバリンゴ半乾燥地域農村開発計画に係るマスタープラン調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することとなりました。

当事業団は本格調査に先立ち、本格調査の円滑かつ効果的な実施を図るため、平成10年9月20日から10月11日の22日間にわたり、国際協力事業団・国際協力専門員 時田邦浩を団長とする事前（予備）調査団を現地に派遣しました。

また、平成11年2月20日から3月7日の16日間にわたり、日本大学・生物資源学部・助教授 半澤和夫氏を団長とする事前（S/W協議）調査団を現地に派遣しました。同調査団は、ケニア国政府関係者との協議並びに現地調査を行い、要請背景・内容等を確認し、本格調査に関する実施細則（S/W）に署名しました。

本調査報告書は、上記両調査団の調査結果について、本格調査実施に向け、参考資料として広く関係者に活用されることを願い、取りまとめたものです。

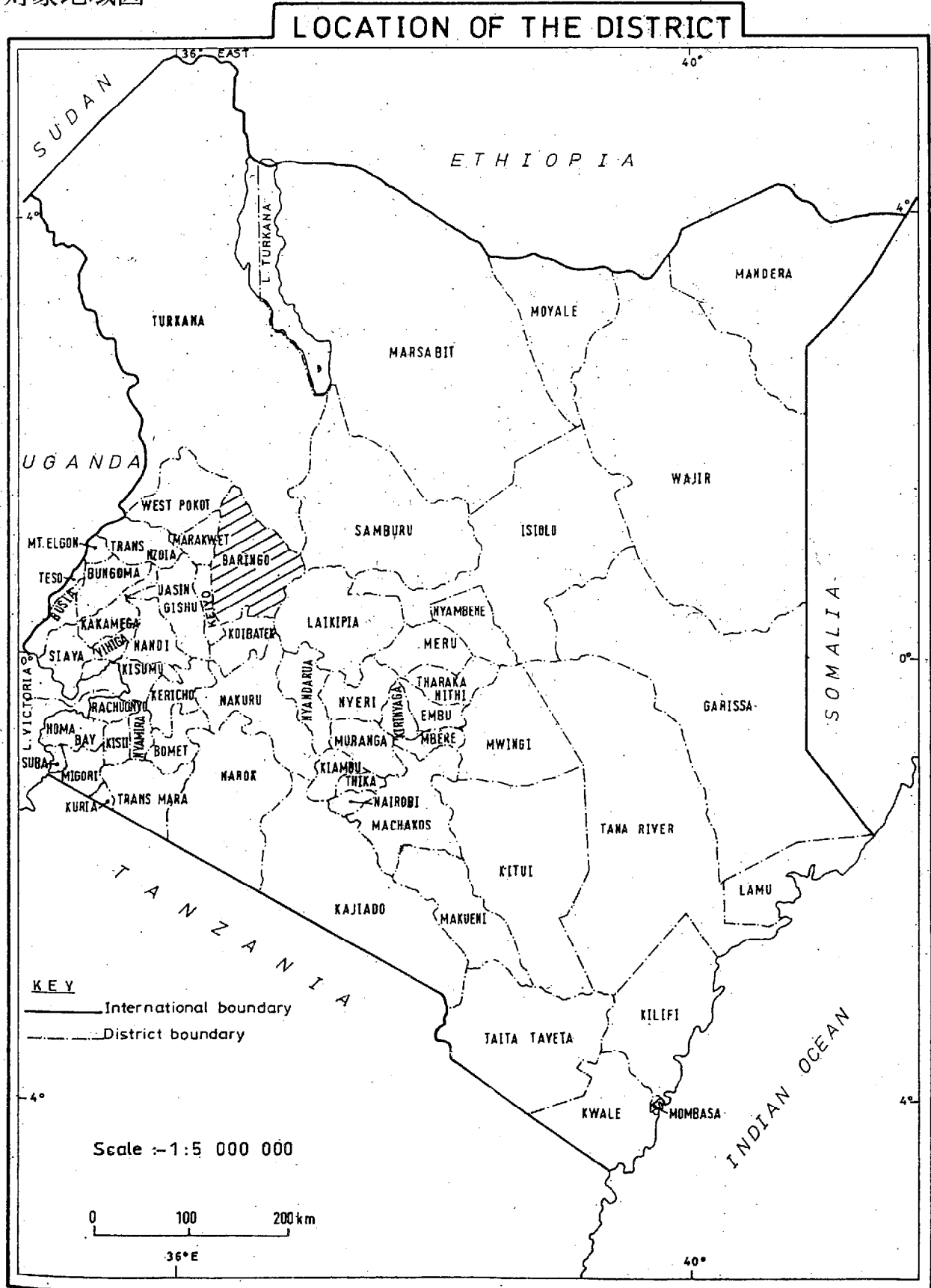
終わりに、本調査にご協力をご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成11年7月

国際協力事業団

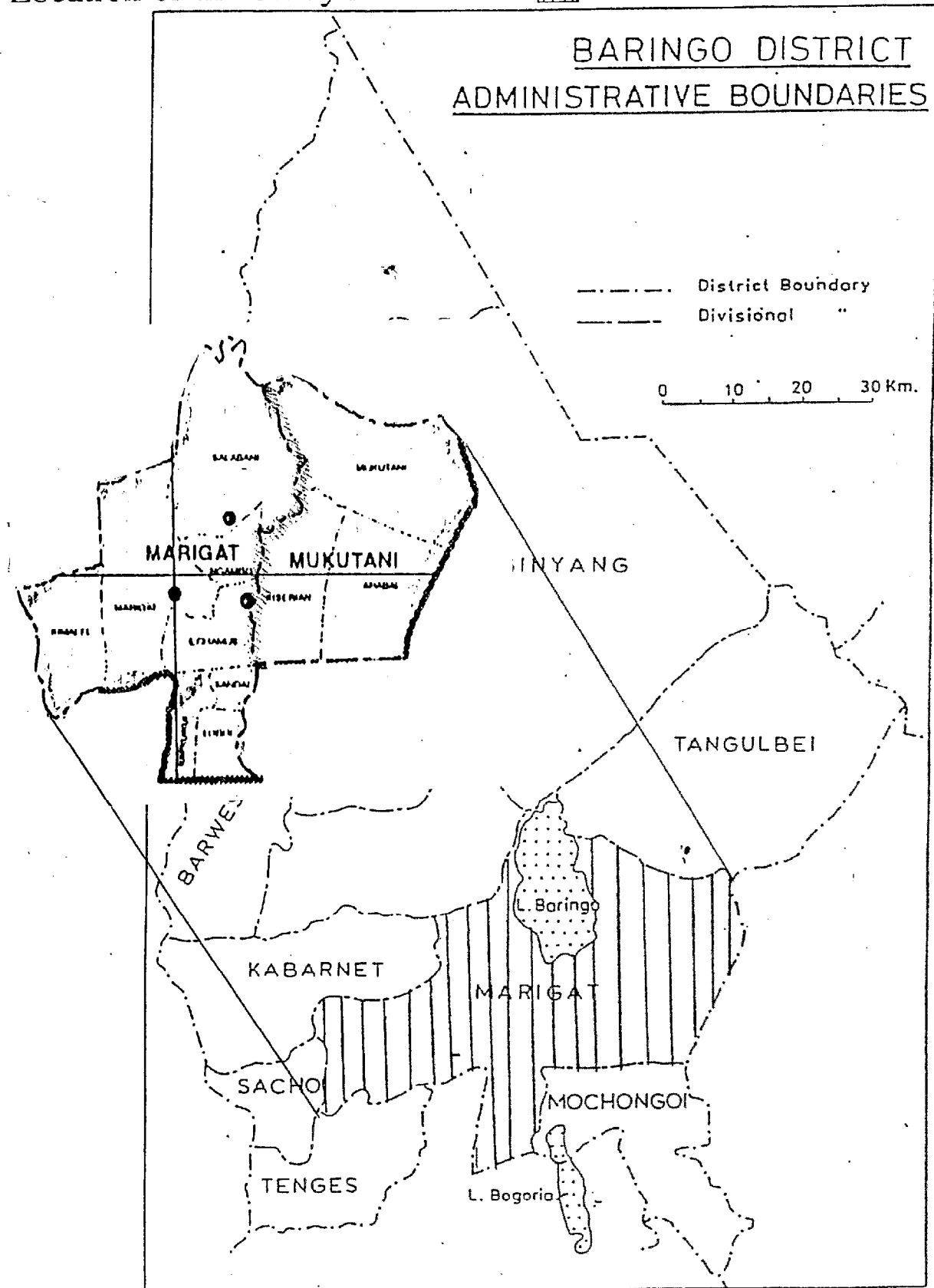
理事 亀若 誠

对象地域图



ANNEX I

Location of the Study Area.....

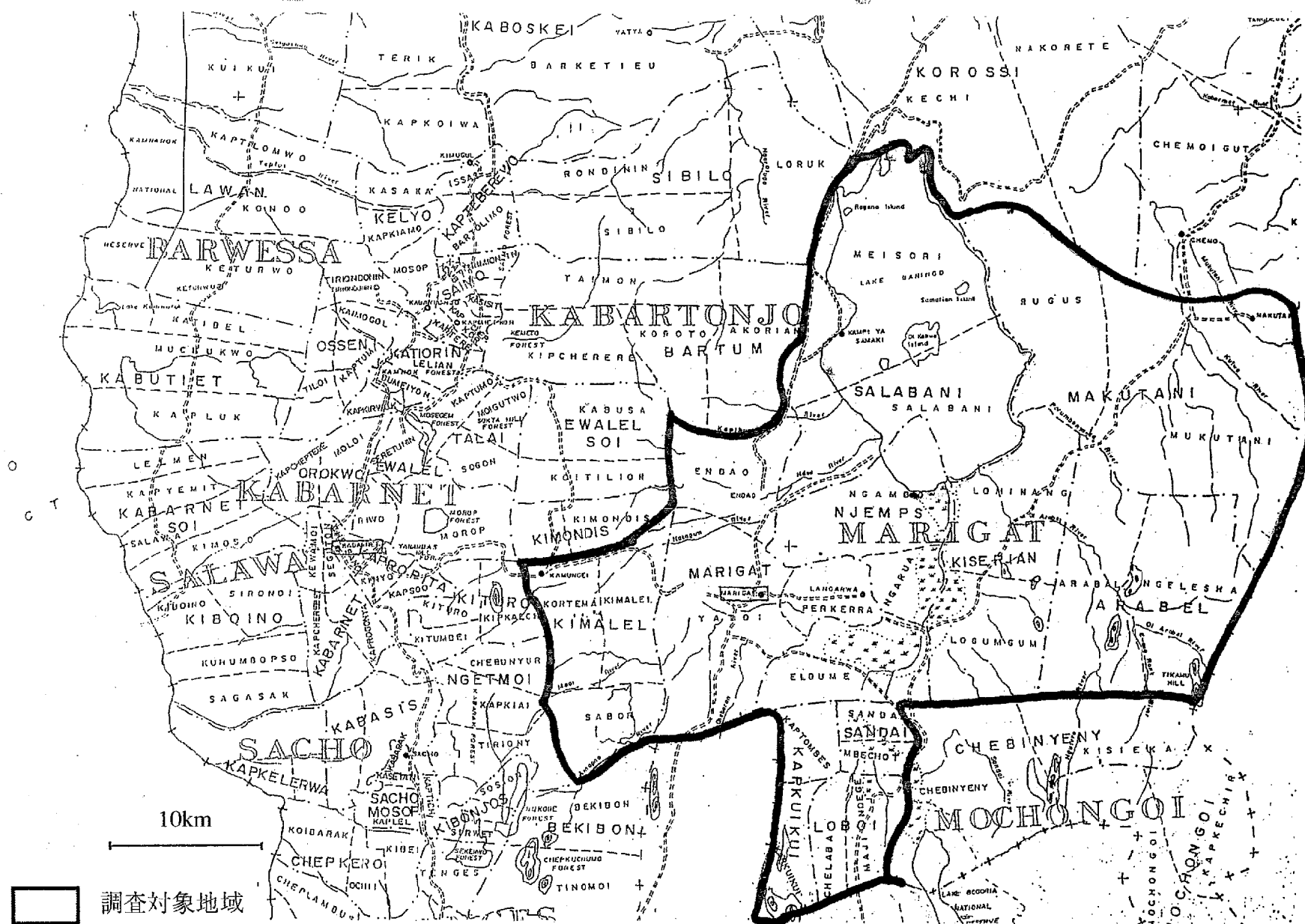


NOTE: Marigat division on the map is divided into Marigat and Mukutani divisions now.

[Handwritten signature]

Muc

R.H.



調査対象地域



航空機より撮影した調査対象地域。

中央の湖がバリngo湖。同湖を含む写真右半分が本調査の対象地域である。



対象地域内の最大の町 Marigat townの町並み。



バリngo県（Baringo District）県庁（Kabar-net）、Baringo DistrictのC / Pが働いている。



乾燥・半乾燥地域（ASAL）の風景。

撮影時（1998年9月）はエルニーニョ現象の影響で降雨が多く、例年よりも緑が多いとのことであった。



激しい土壌侵食。

Loboi Location にて。過放牧等により裸地化し、土壌侵食が発生する。流亡した土壌はバリ
ンゴ湖に流入する等、別の環境問題も発生させている。

目 次

序 文

位置図

写 真

第Ⅰ部 事前（予備）調査報告書	1
第 1 章 調査の目的と概要	3
1 - 1 調査の目的	3
1 - 2 調査団構成	5
1 - 3 調査日程	6
1 - 4 主要面会者	7
第 2 章 調査結果概要	10
2 - 1 協議内容・合意事項	10
2 - 2 予備調査の総括	11
2 - 3 S / W協議に係る留意事項	15
第 3 章 調査対象地域概要	17
3 - 1 調査地域の現況	17
3 - 2 人的資源開発	33
3 - 3 乾燥地農業	40
3 - 4 農業農村基盤	55
3 - 5 社会インフラ	63
3 - 6 環境	99
3 - 7 PCM ワークショップ	105
3 - 8 関係機関活動内容	117
第 4 章 開発基本構想	119

資料	
1．要請書	123
2．協議議事録（M / M）	144
3．予備調査に係る質問表及びケニア国側回答	155
4．収集資料リスト	187
第Ⅱ部 事前（S / W協議）調査報告書	195
第1章 調査の目的と概要	197
1 - 1 調査の目的	197
1 - 2 調査団構成	198
1 - 3 調査日程	199
1 - 4 主要面会者	200
第2章 調査結果概要	202
2 - 1 協議内容・合意事項	202
2 - 2 S / W協議調査の総括	203
第3章 調査対象地域概要	206
3 - 1 農村社会	206
3 - 2 農業・農村開発	208
3 - 3 PCM ワークショップ	223
第4章 本格調査の実施上の考え方及び留意事項	229
4 - 1 本格調査に係る留意事項	229
4 - 2 実証調査の実施上の考え方及び留意事項	232
資料	
1．実施細則（S / W）	243
2．協議議事録（M / M）	252